

# ガス水道局 本支管工事 舞台は公正取引委員会へ 談合疑惑

「談合の有無は判断できないが、録音データからは談合を疑う発言がある」と最終報告

ガス水道局発注の本支管工事における談合情報等調査委員会最終報告が2月17日午前、市議会建設企業常任委員会協議会で行われました。

1月17日に中間報告が行われましたが、その後、日本共産党議員団による別の録音データの提供や徹底究明を求める申し入れなどを受けて、さらに継続調査したものを「最終報告」として議会に提示したものです。

それによると、「文書類に関する調査結果などから、談合の有無は判断できないが、録音データに関する調査結果には、談合の存在を疑う発言がある」として、「公正取引委員会へ通知することが適当」との結論に至ったというものです。また、職員に対する調査では、「予定価格や最低制限価格または設計額の全部または一部を業者など部外の第



三者に漏えいしたものは認められなかった」として、これで内部調査は終了することにしたとのことでした。

今後は、上越市長名で「速やかに」公正取引委員会に通知され、そこでの調査が進行することになります。

今後の指名に関する措置は検討中としながらも、入札契約事務に関しましては、①予定価格などの管理徹底、②工事費内訳書の提出義務化、③誓約書の徴収といった談合防止措置を講ずると報告されました。

この報告に対し、橋爪議員は、「文書類からは談合の有無が判断できないとしているが、かなり詳細な資料であり、十分疑うに足るのではないか」「公表されている入札結果からも、『一位不動』の例があるなど、談合の存在をうかがわせるものはあるのではないか」とたどしました。

これに対して、報告した宮越ガス水道局長は、文書類のほとんどが告発者の記載によるものであるとして、判断できなかつたと答えました。

また、平良木議員は、「予定価格が漏れているという指摘については、十分に調査したのか。漏れたのではなく、入札の際の積算能力が向上しているというならば、日増しに制限価格に近くなるはず

だが、各業者の入札額を時系列で分析してみたのか」とたどしました。

宮越局長は、入札業者は、積算だけでなく、利益も勘案して入札することもあるのでも、必ずしも一律に制限価格に近くなるわけではないと思いう旨の答弁を行ったほか、今後、詳細な分析を検討することを示唆しました。

## 議会は百条調査

### 委員会設置を！

#### 市民から強い声

2月11日、日本共産党議員団は、「市民とともに談合疑惑解明を求める集い」を開催しました。

集いには、約30名の市民のみなさんが参加しました。まず、橋爪団長がこれまでの経過を報告しました。

続いて、前上越市入札監視委員の鷲澤和省さんが、上越市の入札の問題点と課題について説明しました。特に、「高落札率」、「一位不動」、「不落階契」などの問題については、具体的な入札事例をあげながらわかりやすく解説しました。

参加者は驚きを持って説明に聞き入りました。参加者からは、「まずは談合があったかどうかをはっきりさせることが大前提だ」「市民運動で



具体的入札事例を説明する鷲澤和省さん

談合疑惑解明を求める声を大きくしないとうやむやにされかねない」などの声が相次ぎました。

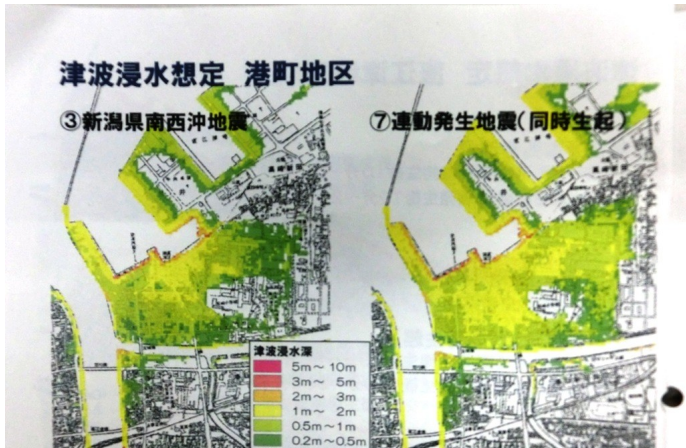
議員団は、「すでに議長に百条委員会設置を申し込んでいるが、徹底的な疑惑解明を求めるために、まずは2月17日に開かれる建設企業常任委員会協議会を傍聴してほしい」と呼びかけました。

★ ☆ ★ ☆ ★  
17日の建設企業常任委員会協議会には、たくさんの方々が訪れました。

また、「くびき野地域問題研究会」（後藤紀一会長代理）や「住民自治と合併問題を考える会」（佐藤忠治代表）などから、議会に対してガス水道局発注工事に関わる談合疑惑解明の百条委員会設置を求める動きがはじまりつつあり、市民の間でも関心が高まっています。

## 「県津波浸水想定」示される

2/17文教経済常任委員会協議会 上野議員担当



2月17日午後に、災害対策特別委員会が開かれ、市防災危機管理部から「新潟県津波浸水想定」と「上越市地域防災計画津波災害対策編(案)」が示されました。

「新潟県津波浸水想定」では、8パターンの津波の浸水予想が示されました。そして、そのうち最も影響があると予想される新潟県南西沖地震と、連動発生地震による各地域での最大津波高が示されました。

その最大津波高は、柿崎区上下浜で約5.2m、関川河口で約3.8mとなっています。しかし、ほとんどの所で津波による実質的な被害は想定されにくいとしています。ただし、港町付近では、市街地で1~2m、海岸付近では約3mに達することが予想されるとのことです。

上野議員は、「日本海側の断層の状況も科学的に解明されていないもとの浸水想定を示すことはどうか？地域の道路や建物環境によっても違ってくる」「住民が安心できる根拠をしっかりと示すべきだ」と質問しました。今後、津波対策についても、さらに練り上げられます。

## 日本共産党上越市議員団ニュース

No.398 2014年2月23日

連絡先  
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)